

世界遺産 下鴨神社

<http://www.shimogamo-jinja.or.jp/>

正式には「賀茂御祖神社
(かもみおやじんじゃ)」
とよびます。

京都は鴨川を中心に町づ
くりがなされており、鴨
川の下流にまつられてい
る

お社というところから
「下鴨(しもがも)さん」

とか「下鴨神社(しもがも)」と親しくよばれています。
東西の両本殿はともに国宝に指定されています。

大炊殿拝観

拝観時間 : 午前10時~午後4時迄
 拝観料 : 大人 1名 500円
 : 子供 1名 250円
 ※小学6年生まで
 団体料金 : 15名以上
 : 大人 1名 450円
 : 子供 1名 225円



しもがもじんじゃ・よしだやま

下鴨神社・吉田山

鴨川デルタの杜
下鴨神社から
吉田山の頂へ

京都最古の神社、下鴨神社。深閑とした札ノ森(ただすのもり)に囲まれ、参道を歩けば身が清められるよう。出町柳で鴨川に合流する高野川を渡り、百万遍をめぐる。このあたりは京都大学があり、活気あふれる学生街だ。次に、重森三玲庭園美術館で庭園を鑑賞。歩を進めると見えるのが、木々に覆われた吉田山。吉田神社の境内から、ハイキング気分足を延ばしてもいい。また百萬遍知恩寺では月1回手作り市が開催されており、近隣には小さくて温かみのある雑貨屋さんやカフェが点在する。寄り道も楽しい小さな旅だ。

札ノ森と吉田山、2つの森を結ぶ神社歩き。若者の街には、かわいいお店も多い。

下鴨神社

<http://www.shimogamo-jinja.or.jp/>

下鴨神社は、正式には「賀茂御祖神社（かもみおやじんじゃ）」とよばれています。京都は鴨川を中心に町づくりがなされていることから、京都の人は親しみを込めて「下鴨さん」と呼んでいます。

東西の両本殿はともに国宝に指定されています。

【ご祭神】

賀茂建角身命（かもたけつぬみのみこと） 西殿

玉依媛命（たまよりひめのみこと） 東殿

下鴨神社の公式サイトによりますと、下記の記述があります。

創祀の年代を特定することは出来ないが、『日本書紀』神武天皇二年（BC 六五八）二月の条に、当神社御祭神、賀茂建角身命を奉斎していた一系流「葛野主殿県主部」との氏族の名がみえる。

この氏族は、賀茂建角身命の先の代、天神玉命を祖神とする鴨氏と同じ氏族であったことで知られている。

賀茂建角身命は、古代の京都をひらかれた神さまです。山城の国一宮として京都の守護神としてまつられています。平安京が造営されるにあたって、まず当神社に成功のご祈願が行われました。以来、国民の平安をご祈願する神社と定められました。

21年に一回、式年遷宮が行われます。

式年遷宮

<http://www.shimogamo-jinja.or.jp/senguu.html>

山城国『風土記』などに、玉依媛命が鴨川で禊（みそぎ一身を清める儀式）をされているときに、上流より流れ来た丹塗の矢を拾われて床におかれたところ、矢は美しい男神になられ、結婚された。

そしてお子をお生みになったとの神話が伝えられていますので、古くから縁結、子育ての神さまとして信仰されています。

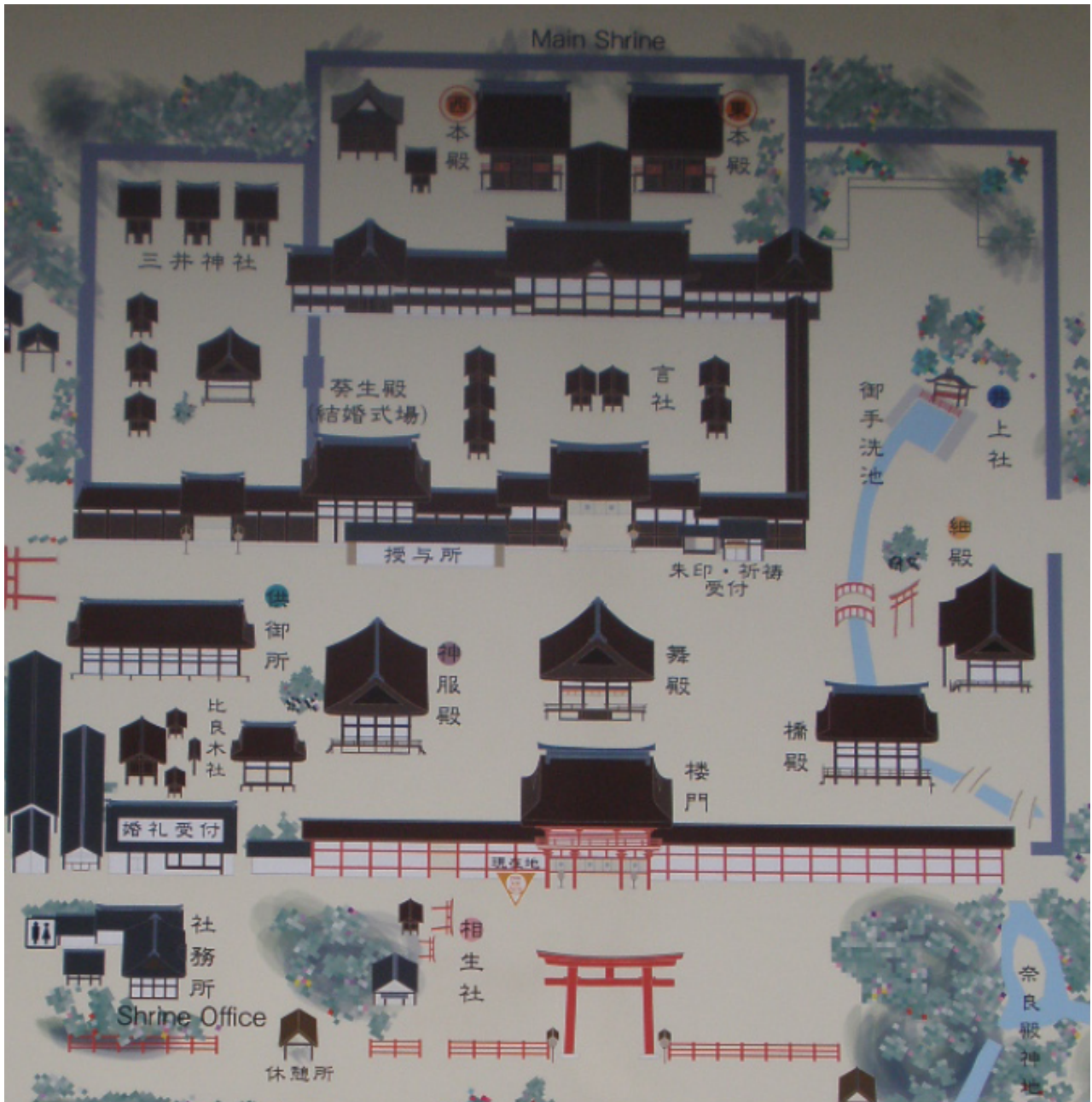
当神社は、国家国民の安穏と世界平和をご祈願する守護神であるとともに、厄除、縁結、安産、子育て、交通安全など人々の暮らしを守る神さまです。

楼門

高さが30mもある朱色の楼門は、遠くからも目立ちます。東西の回廊を持ち古代様式を伝える建造物です。21年ごとの式年遷宮毎に造替されてきましたが、寛永年間の式年遷宮以降は解体修理により保存され、今日に至っています。

橋殿（重要文化財）

御蔭祭（みかげまつり）の時、御神宝を奉安する御殿。御幸の時に公卿や殿上人の控えどころとしても使われてきました。昨今では、正月神事などの時に神事芸能が法のされます。21年毎の式年遷宮の時に解体修理が行われます。



言社（ことしゃ）

言社は大国さんと親しく呼ばれている。大国さんとは、大国主命の略称で、正式社名は言社であり七つのお社がある。

一言社、大国魂命・顯國魂命

二言社 大国主命・大物主命

三言社 大己貴命・志固男命・八千矛命

また、言社はエトの守護神としても有名で古くから信仰をあつめている。各お社ごとに御神徳があり、それをエトで表わし、ネ年からイ年までの生れ年の守護神として信仰されるようになったお社である。



言社（ことしゃ）は、「大国さん」と呼ばれる、大国主命のことで、七つのお社があります。干支の守護神としても知られ、子年から亥年までが七つのお社としてあり、古くから信仰を集めています。